

ウシクサ

イネ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

該当なし

Schizachyrium brevifolium (Sw.) Nees ex Büse in Miq.

選定理由

人里近くに生えるが、近年ごくまれになっている。今回の調査では4ヶ所の確認報告があったのみ。(現況: R-)

形態

草丈10~40cmほどの繊細な1年生草本。花序は頂生および葉脇に側生し小型で長さ1~4cm程、1~数本の細い枝(総)が出る。小穂は有柄のものと無柄のものが総の節ごとに対になってつき、有柄の小穂は無性で退化し不稔である。

国内分布

本州(東北地方南部以西)~琉球。

県内分布

中能登区(七尾市、羽咋市)、口能登区(宝達志水町志雄地区、津幡町)、加賀中央区(金沢市卯辰山)、南加賀区(加賀市片野)。金沢市、加賀市の記録は古い標本にもとづく。

生態など

花期は8~10月。総は節ごとに折れ、対の2個の小穂がいつしよに散布される。

生育環境

低地や山間部の水田の畔や土手などの湿り気の多い草地に生える。

危険要因

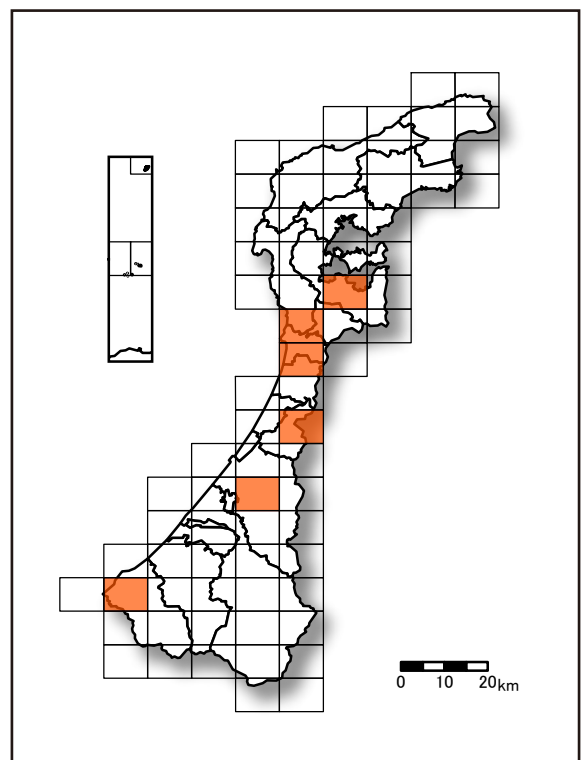
池沼開発、土地造成、農薬汚染、管理放棄、産地局限。

特記事項

近年各地で進められた圃場整備事業などにより多くの自生地が消滅したと考えられる。目立たない植物のため見落とされている可能性もあり、県内の分布の現状について緊急に調査を行う必要がある。



本多郁夫・2005年9月23日・能登



県内の分布